

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

教科：芸術

音楽Ⅰ

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：（A組）G組 館弓子（ ）

使用教科書：（MOUSA 1（ ））

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創意的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い豊かな情操を培う

科目 音楽Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を活かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらの良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創	鑑 賞					
1 学 期	曲にふさわしい発声で表情豊かに歌う	・曲にふさわしい発声などの技能を身に付けるとともに、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、表現を工夫して表情豊かに歌う ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりを理解し、曲にふさわしい歌唱表現の技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して歌うとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考える	○			○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている	○	○	○	12
	表現を工夫してギターを演奏する	・曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、表現を工夫して演奏する ・曲想とギターの音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、身体を使い方などの技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して演奏する	○	○	○	○	創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体を使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。・曲想とギターやウクレレの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
2 学 期	作曲家の生涯をたどりながら、それぞれの作品の特徴を聴き取る	・J.S.バッハやW.A.モーツァルトの生涯をたどりながら、それぞれの作品の特徴を理解し、魅力を味わう ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解するとともに、根拠をもって曲や演奏を批評する				○	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	○	○	○	6
	表現を工夫してギターアンサンブルを行う	ギターの奏法を身に付けるとともに、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、表現を工夫して演奏する曲想とギターやウクレレの音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、身体を使い方などの技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して演奏する	○	○	○	○	創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体を使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。・曲想とギターやウクレレの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	発音や発声工夫して合唱やヴォイスアンサンブルを行う	各パートの役割を理解するとともに、全体の響きをイメージしながら表現を工夫して合唱やヴォイス・アンサンブルをする喜びを味わう合唱やヴォイス・アンサンブルによる表現の特徴を理解し、それを生かして歌ったり、他者との調和を意識して歌ったりする技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して歌う	○			○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	○	○	○	8
3 学 期	コード進行をもとにメロディを創作する	多くの曲に用いられているコード進行をもとに、音のつなげ方やフレーズのまとまり、重なりによる響きを理解し、さまざまな手法を活用しながらイメージをもって創作する音のつなげ方やフレーズのまとまり、重なりによる響きを理解し、反復、変化などの手法を活用してメロディをつくる技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して創作する	○			○	創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、及び合唱やヴォイス・アンサンブルなど表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、合唱やヴォイス・アンサンブルによる表現の特徴、及び各パートや指揮者の役割	○	○	○	6
	曲想と音楽の構造や歌詞とのかわりについて理解し、ミュージカルナンバーを歌おう	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	○	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。・音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解している	○	○	○	14
										合計	70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

教科：芸術

芸術

美術Ⅰ

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 組

教科担当者：橋岡昭男（ AB組：（cd 組：（ ）（ E組：（ ）（ F6組：（ ）（ 組：（ ））

使用教科書：（光村図書 美術Ⅰ（ ））

教科 芸術

の目標：芸術文化に理解を深め生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる

【知識及び技能】中学校美術科の基礎に立ち高校生の造形的な意識の向上と素材への適材適所の使い方を

【思考力、判断力、表現力等】発想から完成までの計画性と創造的な表現の構想を練ることで感性を高め技能を習得する

【学びに向かう力、人間性等】自分なりの発想や構想で表現の工夫をして個性豊かな表現する

科目 美術Ⅰ

の目標：感性や想像力を働かせて心豊かな発想をし、よさや美しさを

などを考え構想する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
中学校美術科の基礎に立ち高校生の造形的な意識の向上と素材への適材適所の使い方をしている	発想から完成までの計画性と創造的な表現の構想を練ることで感性を高め技能を習得している	自分なりの発想や構想で表現の工夫をして個性豊かな表現している

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価の方法	知	思	態	配 当 時 数
			絵・ デ ・ 彫	映	鑑 賞						
	「見る 感じ取る 考える 表す」高校美術Ⅰのイメージを持ち美術の学びの意味や広がりについて考える	美術学習のオリエンテーション 授業内容、必要な用具や材料教科書の説明	○	○	○	○	美術への関心や意欲、態度、教科書の内容が理解できたか	○	○	○	2

1 学 期	プリントの図形を的確に理解し表現すること プリントの線を守りながら丁寧に1つずつ明度をつける	立体の意識 正面・側面・上面3方向からの図形から立体を描く グラデーションの練習	○	○		立体を把握しデッサンできたか 根気強く丁寧に塗り重ねているか	○	○	○	4
	白と黒が隣り合うときの明暗や線が長短に見える錯覚の理解する 補色についての理解する 色彩について基本事項を学ぶ調和や対比によって寒暖ができ春夏秋冬を表わしているか	目の錯覚 幾何形体の理解 色相環のプリントを絵の具を使って塗る	○	○		錯覚を理解できたか 知らない幾何形体をどれだけ立体的に描けたか 丁寧に絵の具を使ってむらなく塗れているか	○	○	○	8
	3方向からの光を意識して立体を組み立て構成する ねじれや上・側面の明暗での把握（明度の段階に分ける） アクリル絵の具の使い方や明度による色彩表現方法ができているか	3次元・四次元の立体 白黒（鉛筆）による3・4次元の立体色彩による3・4次元の立体	○	○		集中力・持続力をもって作品にどれだけ向き合っているか 構造や立体の把握・明度段階に応じた色を塗れているか	○	○	○	8
2 学 期	色彩の効果によって個性豊かな色味と感性ができることを学ぶ 感性や想像力を働かせて主題を生成し創造的な表現の構想を練る	春夏秋冬をイメージした色彩 プリントの罫を一つずつ丁寧に塗る 動物を使ったマークを考える	○	○	○	形や色を使って感情や思考を造形で表すことができたか 丁寧にアクリル絵の具を塗ることができたか	○	○	○	14
	主題を主體的に追求することでより深く内容を把握できるようにする	パズルに生徒が興味や関心を持てるように漫画やアニメーションのキャラクターを取り上げ作品を仕上げる	○	○	○	個性豊かな表現とお気に入りのものを描くことで集中力を補い作品の優れた所も学ぶ	○	○	○	14
3 学 期	鉛筆によるトーンの練習 明度の境界を見極めて線が引け表現出来たか 形を線でなく面で捉える指導をする	写真を使った鉛筆による模写 雑誌のグラビアから興味のある題材を基に描く 立体感を学び明度の微妙な色合を学ぶ	○	○	○	根気強く丁寧に作業ができているか 集中力持続力をもって制作しているか 完成度の高い作品になっているか	○	○	○	10
	電動ノコギリの使い方ややすりがけの仕方蜜蝋を最後に塗り実際に使えるスプーンを創るよう指導する	小割を使ってスプーン創る 日常的に使えるデザインを考え実際に使えるスプーンを創る	○	○	○	なめらかで美しい形を創りだし実際に使えるスプーンで完成度の高い作品になっているか	○	○	○	10
合 計										70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

芸術 科目 書道Ⅰ

教 科：芸術

書道Ⅰ

単位数：2

単位

対象学年組：第 1 学年 AB 組 D 組 FG 組

教科担当者：AB組：敏隆由香 D組：敏隆 FG組：敏隆

使用教科書：（「書道Ⅰ」（東京書籍））

教科 芸術

の目標：芸術活動により、生活や社会の中の芸術文化に関わる資質・能力を育成する

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する特質について理解し、意図に基づいての表現技能を身につけるようにする

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫し、芸術のよさや美しさを深く味わうことができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】芸術を生涯を通して愛好する心情を育て、感性を高め、心豊かな生活社会を創造する態度情操を育む

科目 書道Ⅰ

の目標：生活や社会の中の書、書の伝統文化と幅広く関わる資質・能力を高める

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現方法や形式、多様性等につき、幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技巧を身につけようとする	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする	主體的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	単元 漢字の書 【知識及び技能】 漢字の成立と変遷を知る 【思考力、判断力、表現力等】 古典に基づく学習の意味と方法を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的授業態度と学び合いに努める	・指導事項 漢字の成立と変遷 古典に基づく学習 ・教材 教科書、プリント				○	・授業に取り組む態度 ・作品 振り返りシート	○	○	○	4
	単元 漢字の書 楷書 【知識及び技能】 唐代の各書風の特徴を理解し、臨書学習に生かす 【思考力、判断力、表現力等】 唐代の各書風の特徴を理解し、臨書学習に生かす 【学びに向かう力、人間性等】 積極的授業態度と学び合いに努める	・指導事項 楷書の特徴、表現を比べ、臨書する 「九成宮醴泉銘」「孔子廟堂碑」「雁塔聖教序」「自書告身」「牛欄造像記」「隅寺心経」 ・教材 教科書、プリント、書具	○			○	・授業に取り組む態度 ・作品 振り返りシート	○	○	○	22
2 学 期	単元 漢字の書 行書 【知識及び技能】 晋唐、平安時代の行書の特徴を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 各書風の特徴を理解し、臨書学習に生かす 【学びに向かう力、人間性等】 積極的授業態度と学び合いに努める	・指導事項 行書の特徴、表現を比べ、臨書する 「蘭亭序」「争座位文稿」「風信帖」 ・教材 教科書、プリント、書具	○			○	・授業に取り組む態度 ・作品 振り返りシート	○	○	○	12
	単元 漢字の書 草書 【知識及び技能】 草書の特徴を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 草書の特徴を理解し、臨書する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的授業態度と学び合いに努める	・指導事項 草書の特徴、表現を比べ、臨書する 「真草千字文」「書譜」 ・教材 教科書、プリント、書具	○			○	・授業に取り組む態度 ・作品 振り返りシート	○	○	○	4
	単元 漢字の書 隷書・篆書 【知識及び技能】 隷書、篆書の特徴を学ぶ	・指導事項 隷書、篆書の特徴を知り、臨書する 「曹全碑」「秦二世诏」「泰山刻石」「爰历权量」					・授業に取り組む態度 ・作品 振り返りシート				

	練習、実習の計画をずか 【思考力、判断力、表現力等】 練習、実習の特徴を理解し、臨書する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的な授業態度と学び合いに努める	・教材 教科書、プリント、書具		○		○			○	○	○	4
3学期	単元 仮名の書 【知識及び技能】 仮名の成立と特徴を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の成立と特徴を理解し、臨書する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的な授業態度と学ぶ意に努める	・指導事項 仮名の特徴を知り、古筆臨書をする 平仮名の単体、変体仮名、連綿、行書き、散らし書き 「蓬葉切」 ・教材 教科書、プリント、書具				○	○			○	○	20
	単元 漢字かな交じりの書 【知識及び技能】 漢字かな交じりの書の創作 【思考力、判断力、表現力等】 古典や古筆の特徴、用具用材の特徴を生かした作品を作る 【学びに向かう力、人間性等】 積極的な授業態度と学ぶ意に努める	・指導事項 漢字かな交じりの書の創作を通して、創造性や表現力を伸ばす ・草稿づくり、作品制作 ・教材 教科書、プリント、書具		○			○			○	○	4
												合計 70

年間授業計画 様式(新カリ対応)

高等学校 令和7年度 教科

科目 音楽Ⅱ

教科 芸術

音楽Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組 G 組

教科担当者：館 弓子

使用教科書：（ MOUSA2

）

教科 芸術Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創意的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心構を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い豊かな情操を培う

科目 音楽Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心構を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
1学期	曲の理解や表現の向上のための基礎	曲種に応じた発声方法や個性豊かな表現について学び、それぞれの歌を歌う ・楽譜の読み書きを早く正確に行い、表現に生かせる力を身に付ける。 ・身近な曲の旋律をもとに、音楽を形作っている要素の働きを変えることで、曲の持つ表情や雰囲気を変化させ、個性豊かに変奏や編曲をする。 ・Alleluja ・ヴォイストレーニング ・歩いて帰ろう ・One more chance 「ルールを守って音楽を楽しもう」 ・楽典 ・コード進行と簡単な伴奏付け ・ヴォイスアンサンブル ・ミュージカルナンバー 鑑賞：オペラ座の怪人	【知識・技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びそのかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方などの技能を身に付け歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことのかかわりについて考え、どのように打つかについて独自の表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びそのかわりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	実技テスト 振り返りテスト			○	○	○	4
2学期	ギターやキーボードの奏法や弾き歌い	ギターやキーボードの正しい奏法を身に付け、楽譜やコード府、TAB譜などを観ながら演奏したり、弾き歌いしたりする ・天体観測 ・サザエさん	【知識・技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそのかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体 の使い方などの技能、及び他社との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことのかかわりについて考え、どのように打つかについて独自の表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びそのかわりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	時代と作品を理解する 映画音楽を観賞する	・音楽史をたどりながらそれぞれの時代の作品の特徴を理解し、魅力を味わう ・「音楽史」 「映画音楽を聴こう 映画「ハリーポッターと賢者の石」	【知識・技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術とのかわりについて理解を深めている。				

3 学 期			【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したものと感受したことの考えとのかかわりについてかんがえるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを深く味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の文化とのかかわりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	実技テスト 振り返りテスト			○	○	○	4
3 学 期	ギターやキーボードの奏法や弾き歌い2	ギターやキーボードの正しい奏法を身に付け、楽譜やコード府、TAB譜などを観ながら演奏したり、弾き歌いしたりする ・Tears In Heaven ・シンコペーテッド・クロック	【知識・技能】 曲想と器楽の音色や奏法との関わり及びそのかかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他社との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したものと感受したことの考えとのかかわりについて考え、どのように打つかについて独自の表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びそのかかわりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	実技テスト 振り返りテスト			○	○	○	4
							合計 54

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科

美術 科目 美術Ⅱ

教科： 芸術 美術

単位数： 2 単位 美術

対象学年組：第 2 学年 D 組 G 組

教科担当者：（D,E,F,G組：千葉）

使用教科書：（日本文教出版 美術2

教科 美術 目標：（ ）

【知識及び技能】美術1を踏まえ絵画、彫刻などの構造や文化的歴史的背景などとの関わり及び美術の多様性について理解を深める

【思考力、判断力、表現力等】形や色などの造形を形つくる要素やその表現意図を認識し、どのように表現するかについて考えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】主体的積極的に作品などから良さや美しさを感じ取り批評などして幅の広い見方を獲得することができる。

科目 美術2 目標： わ

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
絵画、彫刻などの構造や文化的歴史的背景など関わり及び美術の多様性などについて理解を深める。	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力をやしなうことができる。	言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、尊重して能力の向上をはかる態度をやしなうことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			知	書	読					
1 学 期	石膏デッサン 【知】 意図した明暗を鉛筆を使って正しく認識し立体を表現できる 【思】 立体であることを認識し表現意図をもって制作できる 【態】 主体的に課題に取り組むことができる	鉛筆によるグラデーションの作り方	○		○	作品制作態度	○		○	4
	色面構成 【知】 色の3属性を理解し、適切な色を選択して制作できる 【思】 課題を理解し表現意図を持って制作できる 【態】 主体的に課題に取り組むことができる	画面構成の方法について 色の3属性 トーンについて 色彩計画			○	作品制作態度	○		○	10
	情報伝達デザイン（ポスター） テーマ（四季のイメージ）	ポスターについて 色のイメージについて				作品制作態度				

2 学 期	【知】 色の持つ特色を知り適切な色を選択して制作できる 【思】 色彩についての理解を深めじぶんの表現意図を持って制作できる	それぞれの色彩の特質 構成方法	○	○		○		○	○	12
	多版多色刷り木版画 【知】 伝統的な木版画の美しさを知りその制作方法を理解して制作できる 【思】 木版画の長所を活かし自分の表現意図を持って制作できる 【態度】 積極的に制作できる	浮世絵の歴史と文化 木版画の制作手順 木版画の特徴 版木について		○	○	○		○	○	14
3 学 期	デザイン 【知識及び技能】 情報デザインの意義について 【思考力、判断力、表現力等】 自分の表現意図を持って構成できる 【態度】 主体的意欲的に表現しようとする	情報デザインについて 構成の方法 配色法	○	○		○		○	○	14
		送夏目漱石之伊予予	○	○						
	定期考査									
合計										

年間授業計画

大崎 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅱ

教 科： 芸術 書道Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組 G 組

教科担当者：（ A組：敏蔭 ） （ B組：敏蔭 ） （ C組：敏蔭 ） （ D組：敏蔭 ） （ F組：敏蔭 ） （ G組：敏蔭 ）

使用教科書：（ ）

教科 芸術 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 ・書の創造的な諸活動(知識・表現・鑑賞)を通じ、日本及び中国等の書の歴史や文化と現代的な意義についての理解を深める。・漢字の書の変遷や仮名の成立等を理解し、文字と書の伝統と文化についての理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】 ・書写能力や表現力、日本の伝統と文化についての理解を深めると共に、書の創造的な諸活動(知識・表現・技能)を通じて、考察する力や表現をする力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 ・書の良さや奥深さを認識し、学んだ内容を積極的に活用しようとする態度や、作品制作や知識の習得の過程で得られる粘り強さ伸ばし、豊かで充実した感性と情懷を持った人間性を育む。・日常生活における書への関心を高め、感受を養う。

科目	書道Ⅱ	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・書の創造的な諸活動(知識・表現・鑑賞)を通し、日本及び中国等の書の歴史や文化と現代的な意義について理解を深める。・漢字の書の変遷や仮名の成立等を理解し、文字と書の伝統と文化について理解を深める。	・書写能力や表現力、日本の伝統文化についての理解を深めると共に、書の創造的な諸活動(知識、表現、技能)を通じて、考察する力や表現をする力を身につける。	・書の良さや奥深さを認識し、学んだ内容を積極的に活用しようとする態度や、作品制作や知識の習得の過程で得られる粘り強さを伸ばし、豊かで充実した感性と情懷を持った人間性を育む。・日常生活における書への関心を高め、感受を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	・近現代の書作品について ・漢字五書体の特徴(復習) ・篆書の学習	・寛永の三筆について ・漢字五書体とその特徴(復習) ・篆書作品制作(石鼓文、甲骨文、大孟鼎)	○			○	・知識及び技能【確認テスト、作品】 ・表現力【作品、振り 返りカード、批評】 ・学びに向かう力、人間性等【授業態度、作 品、振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	4
	・篆書の学習 ・篆刻の学習	・篆書作品制作(石鼓文、甲骨文、大孟鼎) ・落款印(漢字用・仮名用)制作	○			○	・知識及び技能【確認テスト、作品】 ・表現力【作品、振り 返りカード、批評】 ・学びに向かう力、人間性等【授業態度、作 品、振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	8
	・篆刻の学習 ・隷書の学習	・落款印(漢字用・仮名用)制作 ・隷書作品制作(礼器碑、 張遷碑、開通篆斜道刻石、居延漢簡)	○			○	・知識及び技能【確認テスト、作品】 ・表現力【作品、振り 返りカード、批評】 ・学びに向かう力、人間性等【授業態度、作 品、振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	6
	・草書の学習	・草書作品制作(書譜、十七帖、自叙帖、国中文帖)	○			○	・知識及び技能【確認テスト、作品】 ・表現力【作品、振り 返りカード、批評】 ・学びに向かう力、人間性等【授業態度、作 品、振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	4
	・仮名の学習	・仮名作品制作(高野切第一種、和漢朗詠集、三色紙)				○	・知識及び技能【確認テスト、作品】 ・表現力【作品、振り 返りカード、批評】 ・学びに向かう力、人間性等【授業態度、作 品、振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	20

[illegible]

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（3学年用）教科

音樂演習 **科目**

教科：音樂演習

度
芸術

單位數：

2

对象学年組：第 3

119

教科担当者： 舘 弓子

使用教科書：（
教科 音樂演習

の目標： 音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な

音楽の語活動を通じて、音楽的な発力・考え方を働かせることにより、音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成する。

曲想と音楽の文化的・歴史的背景との関わり及び音楽文化の多様性を理解し、音楽表現に必要な技能を身に付ける

音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり、聴いたりできる

主体的、協働的に音楽の諸活動に取り組み生涯にわたり音楽を愛好し生活を明るく豊かなものにする態度を養う

科目 音樂III

の目標：音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な

音や音楽、音:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景を理解するとともに、創意工夫や表現上の効を身に付けるようにする。	音楽に関する知識や技能を総合的に動かすことができ、個性豊かに音楽表現を創意工夫。音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたる音楽を愛好するとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るくし、態度を養う。

[illegible]

[illegible]